

天塩川ものがたり 第33回「斉藤茂吉と中川町」

お話：中川町教育委員会 主事補 高子 統さん

斉藤茂吉に大変詳しい 小林 淑子さん

放送日：平成24年1月18日(水) 11:30～30分



ここは中川町共和地区（志文内）にある茂吉小公園です。元々は斉藤茂吉の兄が拓殖医をしていた志文内診療所があったところだそうです。茂吉はこの兄を訪ねて昭和7年8月14日から18日までの5日間中川町に滞在しました。

短歌フェスティバルの歴代入選作品を掲示しています。



茂吉の歌碑
斉藤茂吉小公園の歌碑のほかに、この丘の上にもう一つの歌碑がありますが、冬は行くことができません。中川町に2つの歌碑が存在します。



この短い5日間で茂吉は57首の短歌を詠まれています。

あをあをとodorくばかり太き蔭が澤をうづめて生ひしげりたる



茂吉の日記より

「豪雨ノナカラ草草鞋ハキ徒歩ニテ志文内ニ向フ。若者二人ムカヒニ来ル。四郎兵衛ハルツクサククラ負フ。天塩川濁流サカマク。午後四時半志文内ノ富太郎兄ノ処ニ無事着ス。富太郎、富子途中マデ迎ニ来ル。十六、十七年ブリノ会合ナリ。」

中川町エココミュセンター内には、斉藤茂吉の書物が保管されていました。



中川町 斉藤茂吉記念短歌フェスティバル お問合せ

中川町教育委員会

〒098-2626

北海道中川郡中川町字中川337番地

Tel 01656-7-2877

皆様も一度短歌を詠みにいらしてください。お待ちしております。